

緑窓

第14号



青山学院中等部緑窓会会報
2005年(平成17年)5月1日発行
青山学院中等部緑窓会 発行人 今村和久
〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25
電話/FAX 03-3498-5387
E-mail: ryokusoukai@ceres.ocn.ne.jp

愛する中等部、愛される緑窓会

中等部緑窓会会長 今村和久(十期)



緑窓会の皆様、二〇〇五年度も緑窓会の着実な歩みが始まりました。緑窓会は原点・祝祭・継続のモットーのもとに、皆様方と共に具体的な活動を行ってまいります。その活動の基本は、青山学院中等部にて育てられた同窓生が年齢にとらわれずに共に交流を深め、愛する母校に集まりその都度再生されることの繰り返しのなかでも知れませんが、そのためには、同窓会であり、同窓会では交流の場を用意し、継続して祝祭を行うことにしております。このような機会を通して同窓の皆様方からも母校からも愛される会であり続けたいと思います。祝祭も本年は十六回目を迎えます。十六期生の方々が中心になり六月四日(土)に第十六回「緑窓会の日」を開催しますので、是非母校にお集まりくださるよう念願しております。

さて、青山学院校友会も二〇〇五年四月一日より新しい形態で活動が開始されました。

幼稚園から大学院までの卒業生にて構成する校友会は、今や二十七万人を超える状況です。そのうち中等部卒業生は約一万五千人弱となっております。新校友会は任意団体として新しい組織と運営形態となり、代議員総会、常任委員会、正副会長会がその中心となり、青山学院校友センターの御協力のもとで、学域(部会/同窓会)・国内外の支部・登録諸団体(体育系、文科系、職種別系など)などにより活動が開始されました。緑窓会からは代議員十七名、常任委員二名が選出されました。即ち、緑窓会は青山学院校友会の一員として青山学院建学の精神のもとに、その教育方針を支持した活動に参加していくことになりました。今後共多くの緑窓会会員の方々の参加を希望するものです。

最後になりましたが、緑窓会には会員の方々の積極的なボランティアにより運営されております。これらの方々に心より感謝しますとともに、各位の御負担を軽減しつつ会員の方々ととの交信方法の改善を図っていき、常に楽しい会でありたいと願っております。

第十六回「緑窓会の日」二〇〇五年六月四日(土)

実行委員長 松元 茂(十六期)

年に一度の「緑窓会の日」が今年も六月四日(土)に開催されます。「緑窓会の日」は一九九〇年に同窓会発足四十周年の記念行事として一期生が中心となってスタートしたと聞いています。それ以降、卒業して四十年になる五十五歳の期が中心となって、箱根駅伝で学生が「たすき」を全力で繋ぐように、毎年多くの同窓生が企画し実行してきました。

昨年は十五期生が中心となって「いま中等部は」をテーマに、入試問題に挑戦したり、アリーナを探検しました。礼拝の後、コンサートと朗読、討論会と盛りだくさんの素晴らしいイベントが行われました。

今年も花の十六期生が幹事を引受けることになりました。来年の十七期生に引継ぐまで緑窓会役員の方々と力を合

せ、幹事一同精一杯頑張りますので、ご支援、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

今年も「みんなが集まろう!六月の青山に」を合言葉にお世話になった先生方を多数ご招待いたしますので、中等部時代に戻りたいに語り合っていたらいいと思います。積極的に参加をお願いいたします。同窓生以外の方も大歓迎です。

当日はバイブオルガンコンサートを楽しんでいただきます。オルガニストは権名雄一郎氏です。ダクタフ・レオンハルトが絶賛した逸材といわれる方ですのでどうぞご期待下さい。

六月四日、ガウチャー記念礼拝堂が満員大盛況になることを今から夢見ています。



二〇〇五年 『緑窓会の日』 開催のご案内

十六期 松元 茂

今年も「緑窓会の日」の催しが左記の通り開かれます。
今年も、若手の方々をお迎えしての礼拝のお話とパイプオルガンの演奏会、そして茶話会を含めて皆様方の親睦を深めていただきたいと思ひます。御来校を心よりお待ちしております。

記

日時 二〇〇五年六月四日(土) 十三時三十分～十七時十五分
内容 一、礼 拝(ガウチャー記念礼拝堂) 十三時三十分～十四時二十分

お 話 ● 矢吹一夫牧師

(青山学院大学神学科一九七七年卒)

奏 楽 ● 権名雄一郎

(高等部四十二期、東京芸術大学卒)

二、コンサート(ガウチャー記念礼拝堂)

十四時四十五分～十五時三十五分

演 奏 ● 権名雄一郎(同右)

演奏曲目(代表曲) J.S.バッハ「プレリュードとフーガ

二短調BWV532 主よ人の望みの喜びよ

C. フランク コラール第2番 短調

三、茶話会(女子短期大学食堂)

十五時五十分～十七時十五分頃まで

「緑窓会の日」の報告

十五期 実行委員長 伊藤 正道

先生そして学校という十五期の想いを込め、二〇〇四年度「緑窓会の日」は、今迄と趣きを変え「学校に帰ろう」をテーマに中等部集合で始まりました。最初は、〇四年度入試問題にチャレンジ!文学は得意!と言っていた友は問題の意味が分からない!と頭を抱え、教師は監督官だからテストは受けない!とつっぱったOBの先生。テスト結果は散々なできだった様です。(副部長の総評では「平均以下」)

アリーナ見学の後はガウチャーホールでの礼拝。十五期の意図を理解しテーマをほめて下さった笹森先生の説教、そして「ソプラノと語りのコラボレーション」で「歌の旅」を楽しみましたが、高等部出身者であれば越谷先生の「初恋」は心に深くしみたことでしょう。コンサートにつづき、先生と語る「中等部のいま!むかし」OBの先生方のかくしゃくたるお話、あの日と全く変わらなかつたことに驚きと拍手です。



そして現役の先生の「先生になって良かった。生徒との触れ合い」とそれぞれもつと長く聞いていたいとお思ひになったことでしょう。最後にカレッジソングでお開きとなりましたが、久しぶりの学校・先生そして礼拝という「緑窓会の日」の原点!の中で、青学を、中等部を、そしていろいろな顔を想って下されたのであれば幸いです。〇五年度も、その次もこの原点!を大切に皆で集まりましょう。

中等部文化祭

「緑窓会の部屋」

十八期 西本由里子

昨年十一月六日(土)・七日(日)の両日午後より、中等部文化祭に恒例の「緑窓会(同窓会)の部屋」を開いた。多目的室の一部屋で、隣では入試相談をしている。一休み出来る場所として、「緑窓会の日」の担当期(昨年は十五期)が協力してお菓子を用意し、毎年石出先生がコーヒーを準備して下さる。

部屋の中には、昔の新聞部の印刷物や、緑窓会の五十年誌が置いてある。自分が中等部へ通っていたページを探して見ると、おもしろい発見



が沢山ある。クラブ活動や生徒会的事、又その当時見ていたテレビ番組やスターの人気ランキングなどもあり、一気に中等部の頃にタイムスリッブ。

今秋も本年度「緑窓会の日」を担当してくれる十六期が中心となっていて、「緑窓会の部屋」をオープンする予定でいる。どうぞ多くの方が中等部の文化祭にお越しになり、「緑窓会の部屋」にお立ち寄り下さいますようお願いして居ります。

平成十七年度中等部文化祭
十一月五日(土)・六日(日)

「一期生の会」

一期 杉野榮美

私達一期生は、二年毎に「二期生の会」を開催していますが、今年はその年に当たり、しかも私達の大半が古種を迎える年にも当たりますので、それを互いに祝うべく、平成十六年十月三十日、青学会館で六名の先生方、約百名の同期生が参加して、中・高等部合同の「二期生の会」を開催しました。

一期生は、戦後の厳しい環境に敗けずに、先生方と共に、中・高等部の歴史の一頁を、明るく自由に築いて来たとの思いと自負を共有していますので、結束が固く、様々な交流が続けられています。年を経ると共にその傾向が強くなり、「二期生の会」を重ね



る度に、益々その絆が深まって行くことを痛感しています。今回もご出席の先生方と親しくお話でき、同期生各位とも互いの無事を喜び合うことができ、楽しい一時を過ごすことができました。

古稀祝晩秋峠ひとつ越え 榮美

十期還暦の会

十期 夫養英毅

昨年十月二十三日、中等部十期同期会が母校の青学会館にて開催さ

れ、七十五名の旧友が集った。

今回は、ちょうど還暦に当たり、第二の人生のスタートをお互いに祝福した。又、お世話になった先生を交え、中等部時代の思い出など大いに語り合った。お忙しい中、武田賢三先生、伊藤いく代(旧姓・阿部)先生にご出席いただいた。先生はそれぞれゴルフ、旅行と生き生きと日々を楽しんでおられ、私達もそのお元気をいただいた。ご挨拶で「中等部の時は、先生、生徒の間柄でしたが、今日皆に会うと白髪も交じり仲間のようにだ」とのお言葉。私達もより親しくお話をした。

会場のテーブルには、赤い花が飾られ、又、メニューにはお赤飯のおむすびが加えられ、祝賀ムードを盛り上げた。当時の思い出多い数々の写真がボードに貼られたその中で、中等部時代毎日歌った讚美歌やカレッジソングを全員で歌い、クラス毎の先生を交えた記念撮影と近況報告が続き、お酒を酌み交しての会は最高潮に達した。懐かしい旧友との話は尽きず、近くのバブにての二次会へほぼ全員が流れ、六時間にわたる同期会を終え、またの再会を誓った。この同期会に出席する為にかリフォルニアから駆けつけた同胞は皆との出合に涙した。又、二次会の半ばに起こった中越地震の為、新潟在住の旧友が帰宅出来なかったというハプニングもあった。ともあれ、大変楽しい一日だった。

チャンタミット献金の報告

棟居 勇 (好善社理事長)



←タイ国・ハンセン病
コロナーの子供たち

緑窓会の皆さまがタイのキリスト教ハンセン病NGO団体チャンタミット(真の友情の意)社のために献金を始められてから十五年になりました。皆さまの尊い献金は、かつてはハンセン病コロナー内の保育所建設の為に用いられ、現在は日本の元患者の方々の献金を元に立ち上げられた「タイ国ハンセン病施設教育基金」(以下「教育基金」)に入れられ、コロナーの子供たち、青少年の教育、チャンタミット社職員
の保育・高齢者介護研修のための奨学金として用いられています。

コロナーの子供たちは、このようにして教育を受け、育ち、その中からコロナーの保育所の保育者、教会の牧師、伝道師にもなって、チャンタミット社の働きの担い手となっています。

チャンタミット社は、このようにタイ国内のハンセン病コロナーの保育所で人を育て、働き人とし、そうした人々によって、働きの輪を全国に広がっています。こうした人材育成を伴う事業展開は、好善社もしていないことで、極めて尊いものです。

「教育基金」は、自分の子供を持つことを許されなかった日本のハンセン病元患者の方々が、タイの子供たちのためにと言って献げてくださった献金で創設されましたが、皆さまの献金もその中に加えさせていただいています。

「基金」としての献金総額は現在までで一千百六十万円あまり、その内皆さまの献金は大きな力になり、ほんとうに感謝いたします。

皆さまが献げるものがどう用いられているか、実際に現地を確認していただくとういと思えます。五年前門田美智子さ



十九期 三年D組

十九期 森由美子(旧姓高木)
日時:二〇〇四年十一月二十日

(土) 十八時

会場:鉄板焼「郷」(木村君の店)
参加人数:二十三名(会費八、〇〇〇円)
スウェーデン在住、ジャズベリストの森君から「日本でのツアー



ん、鳥居照子さんがタイにいらしたように、どなたかタイにいらっしやいませんか？ 私がご案内いたします。

泥沼で育てたナマズを売って

八期 門田美智子

五年前にタイのハンセン病コロニーを訪ねた時、その中の保育所の横に小さな沼の様な池がありました。

エサをまくと沢山の口が水面に浮かび水が飛びはねました。そこは成長が早い「ナマズ」の飼育池でした。そのナマズを売って保育所の資金にしているのですが、微々たる収入でいろんな修繕をするには程遠い額です。丁度子供達のはきものを雨から防ぐ程度の屋根を作りたいとの話で、材料費は五千元程と聞き、私達はその場でささやかな献金をさせてもらいました。あの時の恥ずかしそうにキラキラした目で私達を見つめていた子供達も元気に保育所から巣立っていった事でしょう。彼等はハンセン病だった曾父母の孫達です。貧しい生活の中で一所懸命生きています。「緑窓会の日」の献金はその子供達の教育基金として役立てられています。

☆最近五年間の緑窓会の献金

- 二〇〇〇年 二十万円
- 二〇〇一年 二十万円
- 二〇〇二年 二十四万七千八百円
- 二〇〇三年 二十万円
- 二〇〇四年 十五万円

奨学生からの手紙

エーガボン・タリツ

十二歳(男)小学六年生

家族は父、母、姉の四人です。祖父がハンセン病でしたのでコロニーに住んでいます。僕は貧しい家に生まれましたが、勉強が好きです。成績は合格点です。宿題と教師の勧めたことを一生懸命しています。好きな教科は算数です。僕は家族の力が可能な限り高学年に進みたいと願っています。将来は、好きなサッカーの選手になりたいです。

日曜日は教会の礼拝に行き、教会の掃除も手伝っています。僕は、奨学金支援をしてくれる人たちとそれを僕が受ける事ができるようにしてくれた人に、神様の祝福と平安、健康を祈ります。そしてこれからも皆さまのご親切をいただけるように願っています。



の後、平間先生をお呼びして集まりたい」との連絡。卒業以来三十年、初めてのクラス会。何人集まるのか、そもそも誰だかわかるのか？ ちよつと不安でした。

でも、会えば五分で当時に戻れるのです。卒業アルバムと見比べながら、「なんたるおじさん」「しつかりおばさん」と、みんな自分だけは変わっていないつもりで、ドンデメやらスカパンやらのあだ名(今ならイジメと言われそうな名だ)とともに、あのころのままに言いたい放題。平間先生にいたっては、大幅に遅れてきた友を「遅刻だ！」と一喝。「瞬全員ギョッ、直後に大笑いなんてことも。そして各自の近況報告や森君の生演奏。ケブちゃんの店ということもあり自由気ままに席替え(?)しながら、思い出話に家族自慢、介護話まで飛び交って、最後はもちろん、「一年後」の約束です！

十四期カンレキイベントについて考える会

「二年後のカンレキの年に何かしましょう」と会が出来ました。知恵を出し合って楽しい年に致しましょう。

皆様のご参加をお待ちしています。

連絡先 大柴肇子 松田百代

追悼

中村三朗先生の追悼

七期 西山忠孝

私達の兄さん、サブちゃん先生が逝ってしまつた。今から四十九年前、青年教師中村三朗先生は中等部の生徒に日本史の教鞭を執っておられた。あの当時の教育環境を思えば中等部はずば抜けてよかつた。先生は成績より躰については非常に厳しかったが、生徒に対する愛情は人一倍大きくそのバランスが素晴らしかつた。当時の若さで先生の心情を知る由もないが、旅立たれてひと月それを実証する機会が訪れた。妙蓮寺のご自宅に、先生の霊位に花を手向け、奥様（池原喜美子先生）の慰問を磯野（旧姓手塚）、増田両氏と計画、旧友に呼び掛けると十九名が集合した。都合がつかず断念された



方を入れると多くの方の賛同が得られた。皆様の思いをそれぞれしたためて幹事役に託された。教え子とは言え、半世紀を経ようとしている今でも我々の心深く、サブちゃんが生き続けていることは驚きでありまた感動を覚えずにはいられなかつた。

ご自宅を辞し、帰路に追憶を求めて会食の機会を持ったが、時の経つのを忘れた次第。サブちゃん先生有難うございました。安らかにお休み下さい。

◆ ◆ ◆
中等部同窓会・緑窓会の設立に当たつて、影になり日向になつて私達を支えて下さつた中村三朗先生が二〇〇五年一月に亡くなられました。晩年まで常に「サブちゃん」でいらした先生は、入院されていた時も、お見舞に伺つた私たちと思ひ出話に興じて下さり、いつも明るい輪の中心でいらつしやいました。

一同 ご冥福をお祈りしております。

緑窓会一同

清水友美子先生追悼クラス会

三期 保科隆夫

昨年十二月十日、青学会館校友会A室で清水友美子先生をしのぶクラス会を開きました。奇しくもその会場は先生がご退職後、十年近く三期や七期の卒業生たちを対象に『源氏物語』の講



義をしておられたのと同じ部屋でした。クラス会には、先生が担任された三年C組のメンバーだけでなく、他のクラスからも参加を希望する同期生が多く、三十名が参席して全員がそれぞれの先生の思い出を語りました。

清水先生が女子大を卒業され、中等部で教鞭をとられるようになったのは私たちが二年生になったときです。年齢も十歳ほどしか離れておらず、姉のように甘え、わがままのし放題でした。先生は常に笑顔を絶やさず、私たちを見守り導いてくださいました。三年生のころ、修学旅行を引

率して帰京した先生が安堵のあまり号泣されたのを覚えている同級生もいます。持ち寄つた当時の写真は多くがセピア色に褪色していましたが、中等部での、あのまぶしいばかりの日々を与えてくださった清水先生への私たちの感謝と敬慕の気持ちは、これからも決して褪せることはありません。



緑窓会便り

一年に一度の緑窓会会報をお届けする季節になりました。いつも、輝くような白い花を付ける辛夷が、大学の新しい校舎建設のために伐られ、今年は淋しいウエスレーホールの入り口です。

毎週火曜日、十一時から午後四時まで卒業生の方々のアドレス更新、同窓会、同期会のための宛名ラベルの発行など、和やかに力を合わせて、影のお手伝いをさせて頂いています。ところが、スタッフも少し疲れてきたのが本音。下級生からの「お手伝いしましょう」の声を待っています。左記にスタッフ募集を出していますが、パソコンは・・・という方も、他に仕事は沢山あります。一度声をかけて下さい。

緑窓会 パソコン担当者 募集

緑窓会の事務室でお手伝い下さる方を募集しています。お客様の手の離れた方、久しぶりに母校で仕事をしたい方、是非ご連絡下さい。

- ワード・エクセル・アクセスのできる方。
- 毎週火曜日午後一時より四時半まで
- 緑窓会会員（中等部卒業生）
- 御自宅より1時間以内希望
- 詳細は面談にて
- 連絡先 TEL・FAX
03-3498-5387



緑窓会選出の青山学院校友会役員

二〇〇四年十二月定例役員会の承認のもとに、選考会（会長、副会長、校友会評議員、運営委員全員にて構成）により次の方々が二〇〇五年度よりの校友会代議員に選出、承認されましたので、お知らせします。任期は二年間です。

校友会代議員 十七名

- 飯村 肇（三期）
- 志賀俊也（四期）
- 三上信二郎（五期）
- 堅村美恵子（五期）
- 岩永晴美（六期）
- 倉持皓子（七期）
- 門田美智子（八期）
- 鳥居照子（八期）
- 今村和久（十期）
- 中野凱美（十期）
- 崎田克巳（十四期）
- 伊藤正道（二五期）
- 真藤純一（十七期）
- 西本由里子（十八期）
- 杵家弘和（二十一期）
- 富士野ゆかり（二十一期）
- 鈴木淳雄（二十八期）

校友会常任委員 二名

- 今村和久（十期）
- 崎田克巳（十四期）

青山学院中・高等部四期 同期会開催のご案内

開催日：平成17年6月18日（土）

時間：午後12時30分～

場所：ホテル日航東京

住所：東京都港区台場1-9-1

TEL 03-5500-5500

会費：10,000円（予定）

代表幹事：志賀 俊也 TEL.048-992-1156

飯田セツ子 03-3426-7849

「28期のつどい」開催のお知らせ

至福の中華料理+飲み放題！！

開催日：6月4日（土）18：00より

場所：地下鉄・青山一丁目駅上・
青山ビル地下一階「日比谷園」
TEL 03-3401-3710

会費：8,000円（予定）

今年も多くの先生、友達の参加をお待ち申し上げます

幹事（エンドレスコンビ）：

銀川理恵子 椎名良治

r.sheena@dream.com

中等部便り

★二〇〇五年度人事

部長 大村修文
 副部長 山本与志春
 教頭 千輝克忠
 宗教主任 西田恵一郎
 教務委員長 浦田浩
 指導委員長 小田文信
 三年学年主任 有賀実男
 二年学年主任 石出道雄
 一年学年主任 小田井孝

★異動

★布施英俊先生
 一九七〇年四月から三十四年間、
 国語専任教員として勤められ、多
 くの卒業生に多大な感銘を与えら
 れました。今年三月をもって、定
 年退職されました。

★石丸泰樹先生

初め聖書の非常勤講師として
 二年ほど勤められていました
 が、一九九八年より六年間専任教
 員として勤められ、今年三月をもつ
 て、定年退職されました。

★非常勤講師の先生の退職は次の通 りです。

植田正善先生(理科)
 柴田長正先生(数学)
 武田慶子先生(美術)
 工藤千鶴先生(英語)

★行事

★三年生(五月三十一日から六月三日)

沖繩旅行(那覇・名護)

★二年生(五月二十四日から二十七日)

磐梯高原キャンプ(表磐梯)

★一年生(四月十三日から十五日)

オリエンテーションキャンプ

(伊豆市・天城山荘)

★オーストラリア・ホームステイ

イマニユエル・ルーサン・カレッジ

の中学生宅でのホームステイ、学校

で語学研修を行い、中学生の生活を

体験しています。

期間 八月十三日から二十六日

場所 ブリスベン郊外

★韓国訪問(隔年)

梨花女子大学附属中学校との交流と

ホームステイで、韓国の中学生の生

活を体験しています。

期間 三月二十四日から二十八日

場所 ソウル近郊

★フィリピン訪問(隔年)

友情献金の一部を、キリスト教精神

里親制度を通じて、フィリピンの子

ども六人を支援しています。その子

どもたちを訪問しています。

期間 三月二十一日から二十五日

場所 マニラ郊外

★スキー学校

三月のみの実施にしています。

期間 三月二十一日から二十五日

場所 蔵王温泉(山形県)

2004(平成16)年度収支計算書

自 2004(平成16)年 4月 1日
 至 2005(平成17)年 3月 31日

青山学院中等部緑窓会

支出の部				収入の部			
科目	金額			科目	金額		
会費	721,710			会費収入			
報成	1,253,851			2004年度入金		825,000	
作送	500,051			56期275名		4,610,000	
務用品	53,622			維持会費			
会議	61,862			諸収入			
交通	193,520			預金		824	
水道	12,000			雑収入		25,300	
通信	127,159						
借付	74,518						
人慶	520,000						
雑	100,000						
	46,250						
	27,631						
本年度支出合計	3,692,174			本年度収入合計		5,461,124	
当年度収支差額	1,768,950			前年度繰越収支差額		6,386,092	
次年度繰越収支差額	8,155,042						

緑窓会会計報告

会長 今村和久
 副会長 崎田克己
 同 西本由里子
 会計 岩永晴美
 同 鳥居照子
 監事 飯村肇
 同 平森均